

第6学年*組 体育科学習指導案

指導者 内田 尚樹

1 単元名 器械運動「跳び箱運動」

2 単元の目標

- 自分の力に合った安定した基本的な技やその発展技ができるようにする。 (技能)
- 運動に進んで取り組み、励まし合って運動をしたり、場や用具の安全を確かめたりできるようになる。 (態度)
- 自己の課題解決に向け、自分に合った練習の場を工夫するとともに、友達にアドバイスをしたり友達の意見を取り入れたりすることができるようになる。(思考・判断)

3 指導にあたって (男子*名, 女子*名, 計*名)

跳び箱運動は、技を身に付けたり、新しい技に挑戦したりするときに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。しかし、他の領域と違って、体の回転や倒立など、日常生活では通常行わない動きを多く含んだ運動である。そのため、連續うさぎ跳びや馬跳びなど技の基になる動きづくりをしたり、児童にできる喜びを味わわせるような場の工夫をしたりすることが重要であると考える。

本学級の児童は、明るく元気な児童が多い。休み時間には、校庭に出てボール遊びや鬼ごっこなどをして体を動かして遊んでいる姿が多く見られる。平成*年度体力テストの結果を見ると、女子はすべての種目で県平均を上回っているが、男子は平均を下回っている現状があり、この時期に見られてくる男女による体力の差はほとんどないと考える。1学期に行った「マット運動」の学習では、新しい技にチャレンジしたいという意欲をもって学習に取り組む児童が多くいた。しかし、その気持ちが優先し、自己の能力に合わない技やめあてを設定してしまい、上手くできないこともあった。さらに、算数科などでは学び合いを意識して学習に取り組む児童が多いが、体育科になると互いに「教え合い」「励まし合い」などの学び合いができる児童が少ない。これらの実態から、児童が自らの課題を明確にし、技の習得のためにスマーレステップを踏めるような学習の場を工夫し、児童相互の学び合いができるような場面を設定する指導が必要であると考える。

そこで、本単元では学習の場を工夫し、学び合いができる場面を意図的に設定する。まず、学習の場の工夫では、開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前転などの技を習得するためにスマーレステップを踏めるような場を設定する。また、ICT機器を活用し児童にモデルとなる動画を見せ、取り組む技のポイントを視覚的に理解させたり、学習意欲を高めたりする。次に、学び合いの工夫では、異質グループを編成し集団演技を行う。集団演技を行うことで、自分が今できる技を教え合い、演技する技の種類や順番、タイミングなどをグループで相談するなどグループ間のかかわりが深まると考える。また、仲間の技を見ることで、自分もできるようになりたいという新しい技の

習得への意欲を喚起する。さらに、ペアで新しい技に挑戦する時間を設定し、習得したい技を自由に選択しペアで活動させる。練習の場に掲示してある技のポイントを見たり、動画を使って撮影し合いモデルと比較しながら技の改善点を確認しあったりすることで、互いに学び合いながら練習できるようになる。できた技のポイントを付箋に書き掲示し友達へのアドバイスを書くなど、ペア以外の児童のつながりもつくっていきたいと考える。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
① 跳び箱運動の楽しさや喜びを求めて運動しようとしている。 ◎進んで ② 互いに協力し、教え合い励まし合って運動しようとしている。 ◎常に ③ 用具や周りの友達との安全を確認して運動しようとしている。 ◎常に	① 技のポイントとなる動作を意識しながら練習している。 ◎常に ② 自分にあつためあてを決め、課題解決にあつた場を選んでいる。 ◎選んで工夫して ③ 友達にアドバイスをしたり友達の意見を取り入れたりしている。 ◎進んで	① 安定した開脚跳び・かかえ込み跳びができる。 ◎大きな ② 安定した台上前転・大きな台上前転ができる。 ◎回転系の発展技が

5 指導と評価の計画（6時間扱い）

段落	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	○ 運動の特性やねらい、計画、内容を理解する。 ○ 学習の方法や場を確認する。	①	①	
なか 1 × 2	1	1 運動の特性やねらいを知る。 2 学習の進め方を知る。 3 感覚づくりの運動の仕方を知る。(かえるの足打ち、支持での時計運動、馬跳び) 4 グループ編成をする。 5 グループで練習をする。 6 学習を振り返る。(学習カード) 7 整理運動、片付けをする。			
	2	○ 開脚跳びやかかえ込み跳び、台上前転に慣れる。 ○ 自分にあつためあてをつかむ。	②	①	
	3	1 整列、挨拶、健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 (かえるの足打ち、支持での時計運動、馬跳び) 5 グループ練習をする。(今できる技) 6 ペア練習をする。(もう少しできそうな技)	③		②

		7 本時の学習を振り返る。 8 整理運動，片付けをする。		
な か か 2 2 × 2 ⑤	4	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> もう少しできそうな技に挑戦する。 <input type="radio"/> 友達にアドバイスをしたり友達の意見を取り入れたりして練習をする。 		(⑤) (②)
		1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 (かえるの足打ち，支持での時計運動，馬跳び) 5 グループ練習をする。(できるようになった技，跳ぶ順番) 6 ペア練習をする。(もう少しできそうな技) 7 本時の学習を振り返る。 8 整理運動，片付けをする。	(②) (③)	
ま と め	6	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 練習の成果をグループごとに発表する。 <input type="radio"/> 感想を交流する。 	(①)	(①)
		1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 (かえるの足打ち，支持での時計運動，馬跳び) 5 グループ練習をする。 6 発表会をする。 7 本時の学習を振り返る。 8 整理運動，片付けをする。		

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

- 技を習得するためのポイントを考え，試し，確認し合いながら学習できるよう^{にする。}
(運動についての思考・判断)

(2) 準備・資料

跳び箱3台，ソフト跳び箱1台，ロイター板6台，マット8枚，エバーマット2枚
学習カード，パソコン1台，小学校体育デジタル教材（高学年），掲示資料，付箋

(3) 展開（5／6）

	学習内容・活動	指導上の留意点
は じ め 8 分	1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>めあて 友達にアドバイスをしたり友達の意見を取り入れ たりして練習をしよう！</p> </div> 3 準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 • かえるの足打ち • 支持での時計運動 • 馬跳び	• 身支度の確認と健康観察を行う。 • 活動の場の安全やけがの防止について十分に説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◇運動のポイントを確認させ，個別に補助する。</p> </div>

なか 30 分	<p>5 グループ練習をする。</p> <p>(1) グループで跳ぶ順番を考える。</p> <p>(2) できるようになった技を中心 に練習する。</p> <p>① 開脚跳び ② かかえ込み跳び ③ 台上前転</p> <p>など</p> <p>6 ペア練習をする。</p> <p>(1) もう少しできそうな技に挑 戦する。</p> <p>① 大きな開脚跳び ② かかえ込み跳び ③ 台上前転及び発展技 など</p> <p>(2) 互いにアドバイスをし合う</p> <p>(3) ビデオカメラを使って自分 の動きを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな順番にすれば、よい作品となるか 考えるよう支援する。 ・互いに協力し、教え合い励まし合って運 動を行うよう助言する。 <p>☆互いに協力し、教え合い励まし合って運 動しようとしている。</p> <p style="text-align: center;">【関心・意欲・態度②】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技のポイントが分からなくなったら、掲 示資料やパソコンの動画を見るよう助 言する。 <p>◇手本を見せ技のポイントを確認させ、個 別に補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った練習の場を選択しているか 考えさせる。 ・選択できない児童には助言する。 ・友達によいアドバイスをしている児童を ほめるようにする。 ・できるようになった技のポイントを付箋 に書かせ、掲示資料に張るよう声をかけ る。 ・ビデオカメラの使い方について説明す る。 ・自分の動きとパソコンの動画の動きの違 いについて考えるよう助言する。 <p>☆自分に合った練習の場を工夫するとと もに、友達にアドバイスをしたり友達の 意見を取り入れたりしている。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断③】(観察)</p>
まと め 7 分	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードに記入する。 <p>8 整理運動、片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習でできるようになったことを 紹介させる。また、友達のよいところを 紹介できるようにする。 ・次時の予告をし、期待をもたせる。 ・痛めたところはないか体調を確認しなが ら、ストレッチできるようにする。